

保育者養成校 大学教員のための
保育特別講座

保育士養成校の教員になるものが必ずしも保育を専門とするものではないことは、どの養成校においても言えることです。それでも、かつては養成校教員になってから現場の保育情勢を学びつつ、保育現場からの要請にこたえて助言をしたりしながら指導者として育ってゆく余裕がありました。

しかし、今の養成校においては学生に対してしなければならない指導やケアはきわめて多岐にわたり、保育現場のニーズは幅が広がっている現実があります。

保育士養成校教員に着任したものの多くは、大学の専門課程においてその専門分野を深く学んでいても、自分の専門ではない保育の分野については素人であるといえるでしょう。それでも、保育者養成をし、保育現場から助言を求められる立場にいます。「保育においては、様々な領域が有機的・統合的に子どもの育ちに関わってゆく」と教えるなら、自らも有機的な近接領域を把握しておく必要があるのではないのでしょうか？

とって、いまさら学生と一緒に保育における他分野の授業を受けるわけにもいかないし、他分野を専門的に学ぶ時間もないのが実情でしょう。

子どもと保育研究所ぷろほは、現場リーダーのための3ヶ月カリキュラムの他に、今年度から養成校教員のための短期プログラムを提供し、これからの保育者養成に寄与できればと願っています。

カリキュラム

2017年	2月26日 (日)	27日 (月)	28日 (火)	3月2日 (木)	3日 (金)	4日 (土)
①9:30~	保育心理概論 ①	子どもの 権利①	感覚統合 ③	保育人間学 ①	トータルワーク ①	絵画療法 ①
②11:10~	保育心理概論 ②	②	④	②	②	②
③13:30~	タッチケア& わらべうた①	感覚統合 ①	子どもの 権利③	子どもとメディア ①	言語保育 支援①	芸術療法
④15:10~	②	②	④	②	②	個別支援
⑤16:50~	③				③	(まとめ)

※科目内容・講座紹介は次ページをご覧ください。

※講師の都合により、講座が入れ替わることがあります。その都度事前にご連絡いたします。



受講料

1日…10,000円 全日受講…50,000円

各科目受講…3,000円×コマ数

※1週間前以降のキャンセルは
半額頂きます。



定員

20名 (定員に達した場合はHP等でお知らせします)



受講資格

保育者養成の教員 (常勤・非常勤 不問)

- 宿泊については各自でご手配ください。
- 受講生用マンションは女性のみ3名まで宿泊可能です。

(1泊2,000円/2,500円 キッチン・布団・バス・トイレ有)



会場

子どもと保育研究所ぷろほ

北九州市小倉北区浅野3丁目8-1 AIM4F (小倉駅北口より徒歩5分)₂



科目内容

講師紹介

保育心理概論（山田真理子：ぷろほ所長）

日常保育を支えるための心理理解のポイント。
「子どもの立場にたてる保育者」を養成するための手法である「一人称ワーク」を習得。

タッチケア&わらべうた（吉柳三枝子：倶楽部タッチケア 大屋省子：声楽家）

乳児との関わりをわらべうたとタッチケアを組み合わせることで、乳幼児の安心感を支える。さらに保護者に子どもとのかかわり方として教えやすいオリジナル技法。

子どもの権利（重永侑紀：CAPスペシャリスト）

虐待を受けた子ども、差別の中にいる様々な人たちへの視点を具体的に学び、ケアに必要な学生達への理解にも役立つ。

感覚統合（新庄玉恵：作業療法士）

感覚統合の視点を保育に結びつけることで、子どもの問題行動がメッセージである事が理解ができ、保育の工夫が生まれる。

保育人間学（牧野桂一：大分こども発達支援研究所）

障がい児達の心の機微に触れ、教員・保育者である前に人間としての根源に触れる講座。

子どもとメディア（原陽一郎：筑紫女学園）

近年の子どもたちのメディア漬けの状況がどのような危険性を持っているか、子どもの発達の視点から子ども番組、子どものゲームやスマホを考える。

ドラマワーク（吉柳佳代子：表現教育家）

演劇を学んだこともない保育者が劇指導をする日本では、多くの子どもたちが劇アレルギーを起こしている。「なることで学ぶ」劇ごっこは最高の教育。ドラマワークは保育者の遊び心を解放し、ごっこ遊びを展開できる保育者の養成。

言語保育支援（山田）

ことばの支援に関して保育者ができることが今まであまり語られていなかった。ことばの遅れや発音のつまずきに対する支援を、保育の中でできる保育者となるための言語保育発達検査や言語保育セラピストに必要なことを学ぶ。

絵画療法（小川直美：画家）

子どものこころを開放し、感情を表現できる絵画方法を実際に体験する。

芸術療法（山田）

保育の諸領域が芸術療法の分野の視点で捉えられ、総合的に繋がって実践されている保育を紹介。

個別支援（山田）

保育現場での事例に対して、6日間の内容が一人の子どもにどのような理解を導いてゆくのかを共に考える。現場を指導できる大学教員としての視点を持つ。受講生からの事例提供も募集。

お申込・お問合せ



office@pro-ho.jp



050-1356-3923

- 「養成校教員講座申込」
- と明記の上
- お名前・養成校名
- ご連絡先
- をお送りください。

通常講座等に関する資料請求等も、上記までご連絡ください。

Pro-ho

子どもと保育研究所ぷろほは大学教員のための特別保育講座のほか、言語保育セラピスト養成講座、乳幼児メディアアドバイザー講座などの特別講座を、大学の集中講義も含めて各地で開催しています。資格認定などについてのお問合せもお待ちしております。

